



2016年4月20日（水曜日）

20周年記念ハイク：熊野古道を歩く④（大門坂～那智山）

～Report by 石井 （photo by 参加者のみなさん）

4日目、いよいよ最終日である。本日のプランは、紀伊勝浦駅からバスで大門坂駐車場まで行き、大門坂から青岸渡寺・熊野那智大社・那智大滝をめぐり、その後バスで紀伊勝浦駅へ戻り、駅前のマグロ専門店で「マグロ尽くし」のランチを食す予定だ。今日のコースは熊野古道の観光的な人気No.1のルートで、旅の締めくくりとしては、那智大滝の景観がハイライトとも言えるだろう。ワイドビュー南紀にて名古屋・新幹線で帰路に就く。

本日の基本プラン・行程4時間25分 歩行距離：2.5K コースタイム57分



今日の天気も良さそうだ



ホテルの「駅裏食堂」で朝食だ。

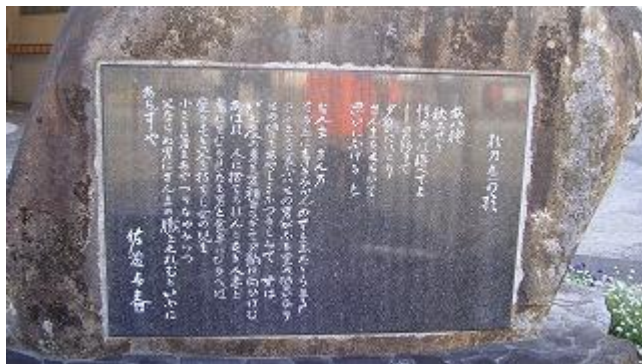
この界隈の宿の中では、6：30に食べられるのがありがたい



「生マグロ尽くし」のランチと、帰りの列車を意識して早朝の出発となる
今日も駅中のコインロッカーにザックを預けて、サブでの軽量歩きだ



駅前出発前の記念撮影



佐藤春夫「秋刀魚の歌」の碑があった



20分程で大門坂駐車場に着くと、「なでしこジャパン」のモニュメントがあった
日本代表チームのユニフォームに入っている「八咫鳥のマーク」にちなんだものであるのだろう



宮間・宇津木選手の足型



澤選手の足型



GK は手形だ：海堀・山郷選手



山の様相がやわらかく感じられる



杖突おじさんがいる。お疲れ気味か？



ここから大門坂だ、この先に鳥居と参道が見えている。森が鬱蒼としている
大門坂は、通行税を取る為の関所に、大きな門があったことから、大門坂と言われるようになった



入り口にある「夫婦杉」。両サイドは壁などではなく杉の幹だ。下の中央の写真で太さが判ると思う



九十九王子最後の「多富貴王子」跡がある。これにて王子巡りも終了だ



ここは巨樹が多い、樹齢800年の大楠だ



大楠を見上げる

石段の参道が続く。燈籠や町石（約109mごとに設置されている）がある



天気の良いので、木漏れ陽の陰影がくっきりして来た



大門坂の石畳は古色蒼然として、昔のままなのだろうか、手加えられていない感じが



「十一文関」跡とある。 通行料は、今の時代の金額で大体¥200ぐらいのようだ



大きな切り株で遊んでみた。トトロの世界だ



大門坂も終わり、那智山の参詣道に入って来た。近くの山は自然林に近い感じだ
パンフレットには那智山の原始林とも書かれており、この辺りの秋は紅葉が美しいのかも知れない
熊野の人工林の多さを目にしてきたので、新鮮に感じてしまう



那智山の聖域が近付いて来た。左奥には熊野那智大社があるはずだ



神仏習合の典型のような景観だ。最初は青岸渡寺に参拝する。天台宗の古刹で西国巡礼の一番札所だ



山門をくぐると境内に入る



正面から見る青岸渡寺。堂中は撮影禁止だが、御朱印を戴くことをいいことに撮らせて貰えた



次に詣でる熊野那智大社の入り口だ、丹が晴れ渡った空に映えている



鳥居の向こうの太陽がまぶしく輝いている。本殿は塗り替えただけのようで、朱の色が目にも染みる



境内は速玉大社と同じような感じだった



山門に戻り三重塔～那智大滝へと向かう

メンバーは那智大社に参らず、青岸渡寺から大滝の方へ行こうとしており、暫く那智大社で待ちぼうけはるかに見えるだけの「那智大滝」だが、インパクトが強いのだろう



本日のハイライト、「那智大滝」へと向かう。この景観は五感に響くものがある



大滝へ向かう途中で「三重の塔」が出迎えてくれた。京都の寺社仏閣から受ける印象に近い
いい眺めではあるのだが、昨日までの古道の雰囲気から変わって、何かしら人工的なものを感じてしまう



更に進むと、遠目に那智大滝が見えて来た。辺りに溶け込んでしまった風景だ



飛瀧神社（ひろう）神社の鳥居



落差：133m・銚子口の幅：13m（滝が注ぐ最初の所）・滝壺の深さ：10m



漢詩だと思うが見損ねた



滝壺方向へ下ると水の響きが聞こえて来た。大滝が見え隠れする



那智の御瀧である（御瀧・大滝・大瀧・飛瀧と、ややこしい）





実際にお見せできないのが残念だが、この時期、水量豊富で滝壺に落ちる水の音がいい
圧するほどではなく、程よい轟音なのだ、意外だった・・・

シンプルで圧倒的な造形には、時として自然の中に「なにごとか」を感じてしまう

これにて熊野三山詣を終えた



熊野本宮大社



熊野速玉大社



熊野那智大社



熊野三山の牛黄神符揃い踏み・平安時代から江戸時代にかけて起請文に使われたりもしたようだ
今はお守りの様に使われているのか、昨夜の「いちりん」でも額に入れて壁に掛けられていた



滝前バス停で休憩中



ゆっくり散策しても、出来れば目標の10:11発の紀伊勝浦駅行きに乗れました



紀伊勝浦は、「生まぐろの水揚げ高・日本一の町」でもある



漁港と海岸を散歩してみた



漁協の水揚げ場



勝浦漁港船着き場



海岸には足湯もあったりして・解説版に、温泉は大陸のプレートの衝突で生まれるとあった



町のいたるところにマグロのお店がある



本日、旅の締めくくり・お約束の「生マグロ尽くし」ランチはここです



大和おつくり定食

松延さん・能勢さん・吉松さん・石井

絶品特製大和丼

堀さん・根岸さん

いずれも、マグロの様々な部位のお刺身が楽しめる内容で、そのほか胃袋煮・冷奴・漬物・みそ汁付き
おつくりには、まぐろのバター炒めもついているのです



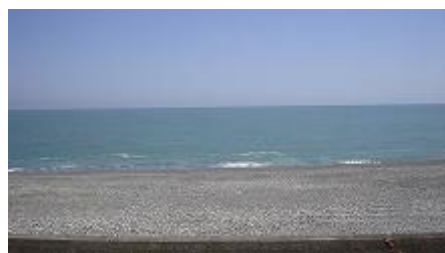
ここでも、モグもぐ・ぱくパク・黙・もく・・・



あとは、皆さんお土産を買い込み



紀伊勝浦駅・12:24 ワイドビュー南紀6号にて一路名古屋へ
16:10・名古屋駅到着



車窓の熊野灘が初夏の色だ



名古屋駅・16:27 ひかり526号 能勢さん・松延さん・堀さん・吉松さん・根岸さんを見送る



名古屋駅・17:27 ひかり528号 石井は小田原に停車する列車を利用 待ち時間あり
「きしめん」ではなく、山本屋の名物「味噌煮込みうどん」を食べて、帰途につきました



3泊4日、それぞれのコース毎に、「個性を持った熊野古道」の旅でした。
クマさん会20周年記念行事・「熊野古道を歩く」・・・無事終了です。